

愛育病院 消化器内科 専攻医研修プログラム

1. 基本目標

- ①消化器内科医に求められる基本的な診療知識・手技を習得する。
→的確な検査計画・治療の立案、医師と患者間の良好な関係、インフォームドコンセント、医療事故防止の知識の取得
- ②高頻度、緊急を要する消化器疾患、および悪性疾患を多数経験し、病態把握能力を養う。
- ③消化器関連学会の認定医・専門医の習得を目指す。
- ④医療スタッフの一員として、また、良識ある社会人として恥ずかしくないよう全人的教育の観点からも指導をおこなう。

2. 病院・診療科概要

当院は札幌市中央区に位置し、血液疾患、消化器疾患、整形疾患を中心に地域の皆様の健康に貢献すべく日夜奮闘しています。

当科は消化器内科の各分野である、肝臓、消化管、膵・胆道領域にそれぞれ経験豊かな指導医を配置しており、日々の診療および研究を行っています。

この分野のあらゆる疾患（救急疾患、重症疾患および消化器癌や消化器慢性疾患など）に対処できるよう、当院のみならず、周辺の医療機関とも連携をし、診療しています。

診療体制、教育指導体制を充実し、医療人としての技術・人材の育成に力を注ぐと共に、良識ある社会人として恥ずかしくないよう全人的教育の観点からも指導を行っています。

3. 修養年限

3年

4. 研修プログラム

1年次：上下部内視鏡（術者として計200例以上）、消化管透視、腹部USの基本手技、CT、MRI等の画像診断の習得。手術症例の病理所見と画像の比較検討。病棟では指導医とともに、各種消化器疾患に関する専門的知識、技能を習得する。緊急内視鏡処置、EUS、EUS-FNA、ERCP、EIS、腹部血管造影等の手技の介助を習得する。

2年次：EMR、ERCP、EUS、肝生検、RFA、EIS、EVL、または腹部血管造影、経皮的ドレナージ術などの各種IVRの特殊検査・治療の術者としての基本的事項を習得する。緊急内視鏡に術者として対応できるレベルを目指す。各学会にて臨床研究の発表。病棟ではスタッフの一員として、グループ診療・治療を行う。悪性腫瘍の集学的治療の習得を含め、さらに臨床能力を高める。

3年次：2年次までに習得した手技レベルのさらなる向上を目指すと共に、内視鏡的胆道ドレナージ、EUS-FNA、ESDなどの高度な治療手技の習得を目指す。臨床研究論文の作成を目指す。病棟では、指導的な立場で初期研修医の教育に関わる。

5. 指導スタッフ（指導医・専門医）

岡本 宗則 （名誉院長 消化器内科）

日本内科学会認定内科医
日本消化器学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本肝臓学会専門医・暫定指導医
日本医師会認定産業医
日本医師会認定スポーツドクター
日本体育協会公認スポーツドクター

町田 卓郎 （副院長 消化器内科）

日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本肝臓学会専門医
日本門脈圧亢進症学会 技術認定医
日本がん治療認定医機構認定医

宮下 憲暢 （副院長 消化器内科）

日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本がん治療認定医機構認定医

青木 貴徳 （部長 外科）

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本肝臓学会専門医
日本 IVR 学会専門医
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医
がん治療認定医機構認定医
乳がん検診超音波検査実施・判定医師
下肢静脈瘤血管内治療施行医・指導医
ALTA 治療実施医

佃 曜子 （医長 消化器内科）

日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医
日本医師会認定産業医

6. 研修責任者

町田 卓郎